

物質・材料研究機構部会からの報告事項

令和3年1月13日

物質・材料研究機構部会

1. 部会委員からの主な御意見について

○デジタルトランスフォーメーション（DX）化の状況認識として、『世界的にDX化が加速している』と認識しただけでは不足であり、『社会的な要請としてのDX化の加速に対して我が国がかなり遅れてしまっている』ことを問題として明確に認識し、解決のための実効ある方策を検討し、実践していくことが重要である。

※上記の御意見のほか、データ中核拠点の定義、中長期目標の追加部分の「等」の範囲など、事実関係について御質問があった。

2. 部会での議論を踏まえた、中長期目標案の修正点について

特になし

理化学研究所部会からの報告事項

令和3年1月13日
理化学研究所部会

1. 部会委員からの主な御意見について

量子コンピュータ研究領域の設定

- 量子コンピュータ研究は日本の強みであり、今後、開発を行うことでグローバルでの競争優位に立てると思われる。我が国がグローバルリーダーとなり、研究開発で世界をリードしていくチャンスである。
- 量子コンピュータ研究は基礎的な段階であるため、社会的課題解決に先んじて、まず科学的課題解決を行うことが重要。

情報統合本部の新設

- 情報統合本部は、研究内容をしっかり評価できる戦略センター又は基盤センターとして位置付けることが適当ではないか。

→ 情報統合本部は、理化学研究所全体の情報セキュリティに係る取組を担うとともに、戦略センターと基盤センターの双方に係る情報科学研究を実施するなど所掌範囲が広いため、組織横断的な位置付けとなる「本部」とするが、研究内容の評価にも配慮する。

2. 部会での議論を踏まえた、中長期目標案の修正点について

特になし

宇宙航空研究開発機構部会からの報告事項

令和3年1月13日

宇宙航空研究開発機構部会

1. 部会委員からの主な御意見について

- 今回の法改正の趣旨はお金のみならず、人材や技術の援助も可能ということ。大学ベンチャーに携わっているが、国立研究開発法人の持っている技術シーズに対して、民間のファンドが評価し、資金と人的リソースを投入し、事業化するという取組の方がうまくいくのではないかと感じている。
- 国立研究開発法人の技術シーズをどのように社会に還元するかが重要であり、その点を重視して取り組むことを期待する。
- 出資の判断をするために適切な資質・能力を持った人材が重要であり、必要に応じて外部有識者等の知見も借りて出資を行うことを期待する。

2. 部会での議論を踏まえた、中長期目標案の修正点について

特になし

海洋研究開発機構部会からの報告事項

令和3年1月13日
海洋研究開発機構部会

1. 部会委員からの主な御意見について

○法人発ベンチャーへの出資や、海洋研究開発機構の成果利用に対して人的、技術的援助を行うことが可能になったが、産業競争力強化、イノベーションへ創出の期待が高まる一方、組織のかじ取りも難しさを増している。新たな業務を受けてのリスク管理、組織ガバナンスの強化が求められる。

○海洋研究開発機構は国費が投じられている研究機関であり、透明性や公平性の確保が欠かせない。出資や援助にあたっての方針や判断基準などを明確に定め、公開すること、出資や援助によって生まれた成果や問題点などを評価・チェックする体制も構築することが必要である。

2. 部会での議論を踏まえた、中長期目標案の修正点について

特になし